

# のんた

22

山口の土地改良

vol.22

Winter 2021

21世紀の食料・環境・ふるさとを考えよう!

●巻頭特集

やまぐちの「農の偉業」探訪⑤

山陽小野田市 寝太郎堰

長寿化時代を  
人々とともに生き抜く  
「寝太郎堰」

入選作品のご紹介

第21回食料・環境・ふるさと

写真コンテスト

入選おめでとう!!

「ふるさとの田んぼと水」  
子ども絵画展2019

●特集Ⅱ

ため池工事特措法成立  
防災重点農業用ため池の  
防災工事を推進!!

●まんが

まんがで紹介する  
土地改良のお仕事④

# 長寿化時代を 人々とともに生き抜く 「寝太郎堰」

取材・文：石井里津子



寝太郎堰。疎水百選(2006年農林水産省)に認定されている。堰長82.5m。もともとは千町ヶ原386.6haを潤していたが、現在、受益地は113ha



寝太郎堰の前で、厚狭寝太郎堰土地改良区の笹尾新太郎理事長(右)と縄田康彦事務局長

## 開田物語の「厚狭の寝太郎」

寝太郎民話は、全国各地に似通った物語がある。それは、3年3か月のあいだ寝続けた若者「寝太郎」が突如、知恵を働かせ、富を得るストーリーだ。だが、民俗学者の柳田国男は1930年に、「水土平定」(＝開田)を称える物語は、唯一「厚狭の寝太郎」だと記している。民話「厚狭の寝太郎」は、次のよう

ならず。いつも寝てばかりだった寝太郎がある日、父親に千石船の建造を頼むところから物語ははじまる。千石船に積み込んだのは、なんと大量のわらじ。そして向かった先は、新潟・佐渡島。寝太郎は、佐渡の金山で働く人たちの古くなったわらじを、新調わらじと交換して歩く。その後、古いわらじを村に持ち帰り、大きな桶のなかでそれらを洗うと、桶の底には、わらじについていた砂金が!

それを資金に堰と水路を造り、美田の「千町ヶ原」を拓いた、というお話である。ちなみに「千町ヶ原」は今も残る地名だ。

先の笹尾理事長は言う。「調べてみると、民話のほかに伝説があります。ここが大内氏の支配下にあつたとき、陶晴賢の反乱で大内氏が自害し、家臣も追われた。その家臣のなかに、もとは信州・武田家配下の者がいて、落ち延びたその人物がこの堰を造り、一帯を開田したというんです」大内義隆が自害したのは1551年。山陽町史には、天保3(1842)年の「防長風土注進案」(\*)の一節が紹介されている。

「中古大内家四箇国の武將たりし時に當つて、賤の男に一人の異翁あり……川上杵村といへる所に大いなる堰を工夫し……終には千町が原を開き田園となし……」16世紀ごろに身分は高くないが、ある男が大きな堰を造り、千町ヶ原を

「寝太郎堰」というのは、愛称なんですか? それとも正式名称ですか? 「正式名称ですよ。その昔は、「大井手堰」という名でしたが、昭和38年の県営工事で今の頭首工にして、「寝太郎堰」という名前になりました」山陽小野田市、厚狭寝太郎堰土地改良区の笹尾新太郎理事長と縄田康彦事務局長が愚問にもかかわらず、笑顔で答えてくれた。

国内にある農業水利施設の名称は、地名由来が多いかと思うが、何しろ「寝太郎」とは、民話の主人公の名前なのだ。この地に残る民話「厚狭の寝太郎」。厚狭川に堰を造り、荒れ地を開墾した「寝太郎」の物語で、堰の名はそこからきている。地元のこの民話への親和ぶりは、主人公が、山陽小野田市のマスコットキャラクターになっていることや、毎年4月29日に「寝太郎まつり」が開催されていることからわかる。さらには、物語をモチーフにした「厚狭川河畔寝太郎公園」が、厚狭川沿いに造成され、市民に親しまれている。



厚狭川河畔寝太郎公園は、厚狭川に沿って点在する、複数の公園で構成。民話がモチーフで「ゆめ広場(野外ステージ等)」をはじめ、「わらじの公園」「桶の公園」「砂金の公園」、「千石船の公園(現在、千石船の遊具は撤去)」がある。写真は、「桶の公園」にある公衆トイレ

開田した、と江戸後期には知られていたのである。

## 江戸中期の資料に出てくる「柵太郎」

その約100年前、寛保2(1742)年から作成され、萩藩の絵図方、有馬喜惣太が残した図絵「御国廻行程記」(\*)のなかに、「柵太郎塚・千町畔ト云」と記載された場所が出てくる。解説に「厚狭の柵太郎と云者才人にて千町の田面へ水懸りの工夫をいたし一向に千町を取立……」とあり、よってこの地で「柵太郎」を祀っている、と書かれてある。

さらに、寛保2(1742)年の「地下上申」(\*)には、「往古荒地にて候所ニ厚狭之柵太郎と申者吟味にて田地ニ相成……(後略)」とある。昔から荒地であったところを厚狭の柵太郎という人物が田んぼに変えた、と申し伝えられている、というのだ。今から200年前は、「民話」よりも



寝太郎荒神社は千町ヶ原のほぼ中央にあり、JR厚狭駅の新幹線口近く。建立当時(1750)年は広大な田んぼの中に建てられたのであろうが、今では住宅と隣接し、新幹線の高架が近くにそびえている。広瀬地区の農民たちが石祠を建てて、祀るようになった



千町ヶ原の北端にある円応寺にも、寝太郎が祀られてある。昭和3(1928)年に見つかったという「稲荷木像」が寝太郎御神体と考えられている。4月29日の寝太郎まつりでは、千石船を模した山車に、この御神体が住職とともに乗り込み、町を練り歩く



厚狭駅を降り、改札を出ると、目に飛び込んでくる巨大な寝太郎の像。寝太郎堰を造ったとされる寝太郎翁の姿だ。寝太郎権現奉賛会によって1971年に建立



昭和43(1968)年にできた寝太郎用水分水工。石板には分水協定が彫られている。幅の太いほうが、東幹線へと流れていく。現在は西幹線のほうが耕作面積は広いが、全体に耕作地が減ってしまったため、この分水幅のままで足りているのだそうだ

「言い伝え」であったのだ。それが、いつしか愉快な民話へと転じ、砂金とも結びついていったのだろうか。

「厚狭川でその昔、砂金が取れていた」という説もあるんですよ

民話のなかに地域の歴史の謎が織り込まれているのかもしれない。何より確かなのは、厚狭川に堰を造り、田を拓いた人物の偉業に、後世の人々が代々、何百年に渡って感謝し続けてきたことだ。

地域に残る、寛延3(1750)年建立の「寝太郎荒神社」は、地区の農民が偉業に感謝して奉納したものだという。また、JR厚狭駅前には、稲束と鎌を

手にした巨大な寝太郎の像が立つ。1971年に建立した厚狭駅のシンボルだ。この地には寝太郎への感謝が脈々と受け継がれている。

### 寝太郎堰へ向かう

厚狭駅から北へ、約1.5キロメートル。駅からそう遠くない、比較的緩やかな地形を流れる厚狭川の中流に、寝太郎堰はあった。頭首工の橋脚や安全柵が、黄色に塗装されている。黄色に彩色された頭首工は、珍しい。グレーやベールグリーン、また、赤く彩色されたものは全国でもよく目にするのだが、黄

色は新鮮だった。稲穂の黄金色をイメージしたものなのか、はたまた民話に登場する砂金色からなのか。その疑問に、縄田さんが笑いながら答えてくれた。

「いえいえ、工事の際に業者さんがつけた色で、危ないですから注意喚起の意味でしょう」

とはいえ黄色が、工事的なニュアンスよりも、かわいらしい印象を与えるのはつい民話「寝太郎」を思いながら、見ってしまうからだろうか。

現在の寝太郎堰は、大洪水の破壊を機に、昭和34(1959)年県営かんがい排水事業を導入。古い水路を整備し、昭

和38(1963)年に頭首工が完成したものだ。

「以前の大井手堰は、杭を組んで石を並べた昔からの堰でした。水路も土水路。厚狭川は水量があり、昔から決壊して氾濫しますから、堰はそのたびに修理です」と笹尾理事長が言う。

取水された水は、堰から約1キロメートルほどの分水工で2本に分かれる。一本は、厚狭川とほぼ平行するように千町ヶ原を南下していく東幹線。もう一本は、厚狭川とほぼ直角に西へと延びたのち、南下する西幹線だ。合わせて8キロメートルほどだが、枝線も入れると10数キロメートルになるといふ。

東幹線のエリアは、住宅化が顕著だ。30年ほど前に住宅団地もでき、とくに数年前から住宅が増えた印象があるという。厚狭駅は、新幹線の停車駅で、広島や福岡までもが通勤圏に入る場所ゆえだ。

一方、農業振興地域である西側は、今も稲作が盛んな田園エリアだが、2020年はトビイロウンカの被害が目につき、胸が痛くなった。



2020年、山口県全域の水田がトビイロウンカによって、大打撃を受けた。笹尾理事長も「まるで額縁のように、内側がウンカにすべてやられてしまっている」と嘆いていた

### 市街地を守る寝太郎用水

寝太郎堰と市街地を流れる寝太郎用水は、街を浸水から守り、防火用水としての機能も果たす。ゆえに、土地改良区は、常に雨や災害に備えている。たとえば、台風の前には、頭首工の水門を閉めておくなど、大量の水が市街地に入り込むことを防いでいる。

こうした機能を保つためにも、水路の泥上げや草刈りなど清掃活動は欠かせない。自治会や水利組合で年に1〜2回取り組む。だが、高齢化が進み、参加者の数が減ってきているという。笹尾理事長が顔をしかめながら話す。「水路などの環境保全への理解をみんなに求めるのは、むずかしい。農業をやる者だけが、行うものだと思われているけれど、暮らしを守るために、維持管理は絶対に必要なんです。たとえば、消防団に入っていれば、防火用水としての機能を知り、水路に関心を持ってもらえる。けれど、平気でビニール袋を捨てたり、弁当の空箱やペットボトルなどを捨てたりする人もいます。ゲートにごみが詰まってしまうと、水が溢れ出すんですよ」

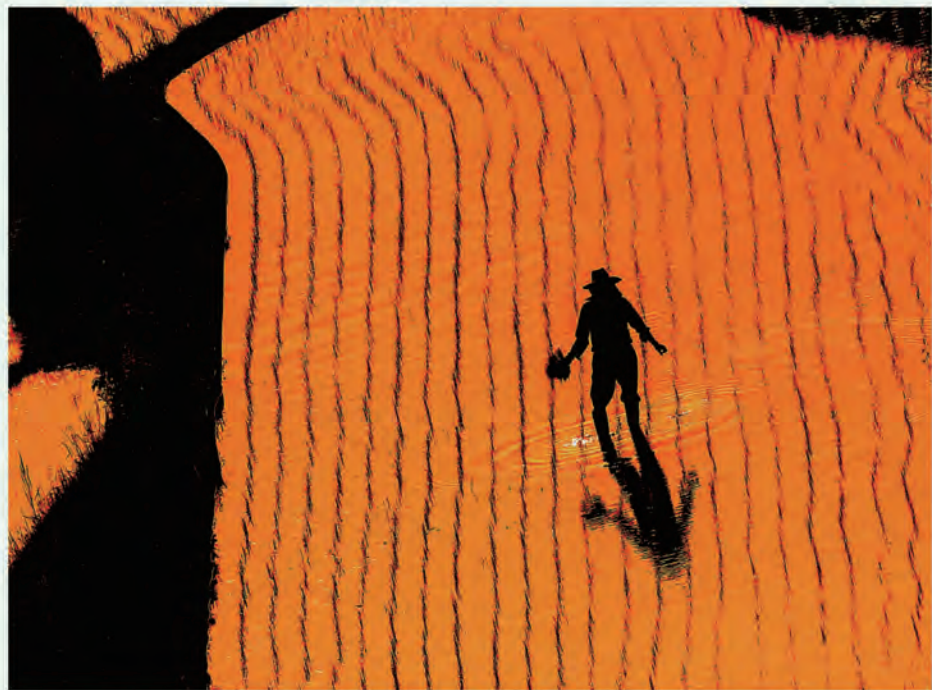
### 長寿化時代に向けて

「水害を防ぐためにも農業水利施設をどう守っていくかが課題です。田にも水をためる力があり、住宅街を守っています。このインフラをきちんと守ることで、わたしたちの町も安全なんです」

「寝太郎堰もコンクリートにひびが入るなど老朽化してきています。わたしたち土地改良区は、それらをいねいにメンテナンスし、長持ちさせないといけない。頭首工と用水路は、どんな時代になっても守らなければならぬものです。水資源は大事ですから」



寝太郎用水路は、千町ヶ原を網の目のように潤しながら瀬戸内海へ向かう。すべて開水路。水路にはイトトンボが飛び交うなど、生きものたちの生息の場となっている



**山口県知事賞**

『田植えの夕べ』 周南市中須地区  
渡邊壽久 (下松市)

朝から天気よかつたこの日。夕日がなかなか美しい。田植えを終え、補植中の農夫に間もなく沈む真赤な夕日が当たる。コントラストが美しい。



**山口県地球人会議会長賞**

『伝統を守る』 宇部市吉部  
林 良子 (宇部市)

吉部小学校で生徒と地元の方々との稲刈りの一コマです。ハザ掛け、今はめずらしい光景となりましたが、子ども達に残してほしい行事だと感じました。

第21回

食料・環境「水・土・人・暮らし」

ふるさと写真コンテスト

入賞作品のご紹介

一般の部

21st Furusato Photography Contest

山口県内の農山漁村の良さを再発見していた「だこうと水・土・人・暮らし」をテーマに、平成11年度から始まった『食料・環境・ふるさと写真コンテスト』。21回目を迎えた昨年度は、8月から12月にかけて募集を行ない、県下各地から農山漁村の風景や生き物、人々の営み、伝統文化などを撮った635点の作品の応募がありました。すばらしい自然や文化が数多く残る農山漁村は、まさに私たちの、そして生き物たちの心通うかけがえのないやすらぎの地、次世代に残していきたい宝です。入賞作品22点を紹介します。

下流域は、砂地で、伏流水が取れる場所が多数あるという。住宅街の民家でも井戸水を取ることが出来るほどだとか。千町ヶ原一帯に用水路が細かく張り巡らされているおかげで、地域の隅々にまで水が行き渡るといふ、地下水ネットワークが形成されているからだ。菅尾理事長は、土地改良区の総会などでよくこう話すという。

「寝太郎堰は歴史的遺物です。町全体の生命線になってるんです。それをみなさんとともに残していきたいですよ」と。

「120歳まで生きちゃる！」

85歳の菅尾理事長が茶目つたつぶりに言う。後継者不足のなか、自らが元気に動いて、守っていくという心意気だ。76歳の縄田事務局長もしかり。

「90歳までは働きたいですね。今は良い機械があるから、高齢者でも農業はできる。農業は楽しいですよ。今年はウシカに悩まされていますが、よし来年は！という気持ちになれるのが農業です」

「人生100年時代」を迎え、農業を守り、地域を守り、水利施設を守る「守り人」たちも「持続化・長寿化」に向け、気持ち切り替えていた。勢いで駆け上がる農業ではなく、先へゆつくりといてねいに延ばしていくやり方。そして、後継者不足を嘆くよりも、まだまだ自らが動くことを目指す生き方がここにある。

寝太郎堰も、人々とともに明日へとつながってゆく。そして、昔からの知恵や思い、感謝も一緒に明日へと延びてゆく。

【脚注】

- \*1「防長風土注進案」天保12(1841)年に萩藩が、防長全域の各村に命じ、まとめさせた地理や産業、習俗などの調査報告書
- \*2「御国廻行程記」寛保2年(1742)から作成された、萩から江戸までの参勤交代路を描いた街道絵図。萩藩絵図方の有馬喜惣太らが描いたとされる、殿様のためのガイドブックのようなもの。この詳細さと表現力は高く評価されている
- \*3「地下上申」享保12(1727)～宝暦3(1753)年にかけて、萩藩の命で藩内全域の情報が集められ、上申された地誌

■参考文献

- 『防長地下上申』山口県地方史学会編・刊行 1979
- 『山陽町史』山陽町史編集委員会編 1984
- 『山陽小野田市郷土史研究叢書 写真集 寝太郎堰』河野豊彦 2015 私家版
- 『郷土文化』ながと 29「長門郷土文化研究会」2017
- 『定本 柳田國男集 第八巻』1967年 筑摩書房
- 『物語の中世』保立道久 1998年 東京大学出版会
- 『寝太郎伝説の深層構造』井上孝夫 千葉大学社会文化科学研究第12号 2006 山陽小野田市HP



春には、満開の桜が寝太郎用水路を包みこむ



【静寂】周南市中須  
阪本守通（下松市）

周南市中須の冬の棚田の風景を写しました。雪の棚田で犬の散歩をしている所に光が当たり良い時間でした。私の残したい風景です。



【夕焼けの花の海】山陽小野田市植生  
谷野和恵（山陽小野田市）

花の海の夕景です。お花も農舎も夕焼けで輝きとても綺麗でした。



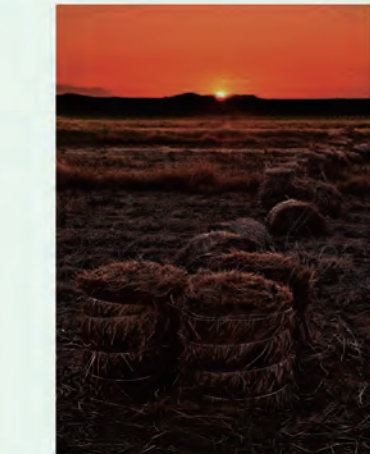
【今、何、思う。】光市虹ヶ浜  
田中隆義（田布施町）

仲間と一緒に見学に……過去の自分達の子どもの頃、そして子育てした当時を思い、現在と時の流れを感じているように思いました。



【花傘が踊る】柳井市  
高津貴子（柳井市）

毎年行われる柳井まつりで盛大に花傘おどりが繰り出される。秋の収穫を感謝して開催される秋祭りです。沢山の団体が競って花笠をくるくる回しながら踊りを披露します。



【わらロール】山口市秋穂  
三戸律子（宇部市）

牧草をロールした物でもなさそうで、わらでロールした物がたくさんころがっていました。夕日がしずみかけ空が赤く染まりきれいでした。



【福を呼ぶフク】萩市萩しーまーと  
大井幸枝（萩市）

フグを親しみを込めてフクと呼ぶ県民食のフグはいつも美味しいそうです。



【旬の美味しさ、楽しさを子供にも】  
山口市徳佐りんご園  
中村優里（周南市）

祖父に抱っこで初めてりんごを取りました。娘にも旬の美味しいもの、果物を収穫する楽しみを実感してもらえたら嬉しいです。



【田植え歌が聞こえる】防府市右田  
秦 保博（宇部市）

防府市右田で毎年行われる「お田植え祭」での1コマです。田植え歌を口ずさみながら田植えをする少女の、爽やかな笑顔が素敵でした。



【循環】萩市明木  
樋口琢哉（山口市）

萩に向かう途中、偶然屋根の上で糞を置き替えている方が目に入った。初めて生で見る光景に、思わず車を停めて撮影のお願いをした。家の周りでとれた糞を屋根として利用する環境にやさしい伝統的な光景を撮らせていただくことが出来た。缶コーヒーをいただくなどお世話になったので、写真でお礼ができればと思っている。

第21回

# 食料・環境「水・土・人・暮らし」 ふるさと写真コンテスト 入賞作品のご紹介



## 水土里ネット山口会長賞

【まだまだ現役!】周南市中須  
吉光佑二（周南市）

稲刈りが始まる田圃で楽しそうに「忙しい時にはまだまだ手伝いますの」と楽しそうに話しておられました。この日の秋晴れの様に明るく、力強い笑顔が印象的でした。



## 山口新聞社賞

【泥田で競う】下関市安岡  
谷野 隆（山陽小野田市）

安岡で行われた泥んこフェスタでの1コマです。写真は泥田で女の子が旗取りレースをしている所です。接戦ですが皆、パワフルな走りです。



## 中国新聞防長本社賞

【海を渡る神輿】周南市給島  
渡邊サダ子（山口市）

豊漁を祈る祭りで神輿で荒海をのり越える人達の勇敢さがすばらしい。



Congratulations!!

／ 入選おめでとう!! ／

# 「ふるさとの田んぼと水」 子ども絵画展2019

20周年  
を迎えました!!

主催:全国水土里ネット・都道府県水土里ネット

小

学校6年生までを  
対象に開催される

「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展。このコンクールは、子ども達に田んぼや農村に興味を持ってもらい、田んぼやため池、農業用水路などの風景や農業用水を守っている人たちの姿を通して水の循環や環境保全機能への理解を促すとともに、子ども達の眼差しを大人へのメッセージとして届けることを目的に開催されています。2000年に応募総数約4,300点で始まった同展ですが、令和最初の年に記念すべき20年目を迎えました。

「新発見!ぼくのわたしのふるさと」のテーマのもと全国から5,244名の応募があり、山口県からは4名の方が入選・入賞されました。おめでとございます。その作品をご紹介します。

児童・生徒の部



優秀賞

「田園風景」 宇部市  
市竹由乃 (下関市・中学1年)

車で、ショッピングに行く途中、田園の風景に見とれて、写真撮影をしました。



山口県地球人会議会長賞

「いつもの朝」 萩市福江平藤台  
野村優貴美 (萩市・中学3年)

私は高校進学で県外に出るつもりなので、この毎朝の風景が見れるのもあと数か月だから、いつまでもこの風景が残っていて欲しいという思いで撮影しました。



優秀賞

「まっすぐ伸びたたまねぎたち」 山口市  
椋木悠太 (山口市・幼稚園年少)

おじいちゃんの植えたたまねぎがお空に向かって伸びてたよ。



優秀賞

「水分補給」 周南市富田川  
佐々木結愛 (周南市・中学1年)

暑い中、カモが水を飲んでいる姿にやさしを感じました。



入選

「神様へのお礼」

山口市立宮野小学校4年 岩本 乃音さん



水土里ネット山口 会長賞

「仁保ラッキョの共同選果」

山口市立宮野小学校5年 藤井 望結さん



入選

「お気に入りの場所」

山口市立宮野小学校6年 稲村 実和子さん



入選

「自然がいっぱい 私のふるさと」

下関市立吉田小学校6年 河崎 愛音さん



「うつくしいさくら」 山口市一の坂川  
井上結牙 (山口市・小学3年)

きれいなさくらがたくさんうっついて、下の川もうっついてきれいだと思います。



「たんぽぽ」 山口市江崎正法寺  
井上綾乃 (山口市・小学5年)

お寺にたんぽぽがたくさん咲いていました。



「ふるさとの夕やけ」 山口市嘉川  
福村美海 (山口市・中学1年)

おばあちゃん家の田んぼでとれた一枚で、とてもきれいな夕やけだったので、おもわずとってしまった写真です。



「僕の畑の作物早く大きくな〜れ」

山口市  
椋木翔太 (山口市・小学2年)

自宅の畑の一角に僕専用の場所をもらいました。大根、キャベツ、白菜、にんじんを育てています。早く収穫できるまで育ててほしいです。

21st Fuzusato  
Photography Contest

主催 / 食料・環境・ふるさとを考える山口県地球人会議

山口県・水土里ネット山口

後援 / 山口新聞社・中国新聞防長本社

※学校名、学年は受賞当時のものです。

# ため池工事特措法 Q&A



令和元年7月1日施行の「農業用ため池の管理及び保全に関する法律（ため池管理保全法）」に続き、令和2年10月1日に「防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法（ため池工事特措法）」が施行されました。  
新たに成立した「ため池工事特措法」についてご紹介します。

## Q 「ため池工事特措法（防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法）」とは

どんな法律なの？

**A** 防災重点農業用ため池の決壊による水害その他の災害から、国民の生命及び財産を保護するために、防災工事等の基本指針の策定や防災重点農業用ため池の指定、防災工事等推進計画の策定及び国の財政上の措置などについて定めることにより、防災重点農業用ため池の防災工事等の集中的かつ計画的な推進を図るために設けられた法律です。

## Q 防災重点農業用ため池って？

周辺に家屋や公共施設等が存在し、決壊時に人的被害を与えるおそれのあるため池のことを指します。

**A** 全国には約16万か所のため池がありますが、そのうちの約6万4千か所が令和元年の「ため池管理保全法」施行後の調査に基づき防災重点ため池に指定されています。

## Q このため、近年豪雨・地震等によりため池が決壊して周辺区域に大きな被害をもたらす災害が発生し、ため池の防災対策は喫緊の課題となっています。

このため、近年豪雨・地震等によりため池が決壊して周辺区域に大きな被害をもたらす災害が発生し、ため池の防災対策は喫緊の課題となっています。

## Q 山口県には防災重点ため池はいくつあるの？

**A** 山口県内には、約9千か所のため池があり、そのうちの1,265か所が防災重点ため池に指定されています（令和2年3月末時点）。山口県のため池数は全国5位の多さですが、全国のため池の約5割が山口県を含む瀬戸内地域に分布しています。



## Q 「ため池工事特措法」の施行によって、これからどんなことが出来るようになるの？

**A** 決壊を防ぐための防災工事やため池の廃止工事、決壊の危険性を評価する劣化状況調査の推進、地震や豪雨時における耐性評価などを、都道府県や国の支援によって行えるようになります。また、国による防災工事等の基本指針の策定や防災事業にかかる費用負担、都道府県による工事実施者への技術指導や助言なども行えるようになります。

ため池は、地域の農業を支える重要な施設ですが、適切な管理や防災上必要な保全措置がなされなければ、地域に災害をもたらす原因となってしまう。  
必要な防災工事を早急に実施し、適正な管理を行って豪雨等の災害に備えることが大切です。

ため池管理保全法	ため池工事特措法
法律の背景 農業用ため池について、権利関係が不明確かつ複雑化するとともに、高齢化等により管理組織の弱体化が進行し、日常の管理が適正に行われないおそれがあることが判明 ↓ ↓ ↓ ↓ 立法措置により、所有者や管理者等の関係者が果たすべき責務を明らかにすること等により、適正な管理保全体制を整備することが必要	ため池管理保全法の成立後、決壊時に周辺区域に被害を及ぼす恐れがある防災重点農業用ため池が約6万4千か所存在し、防災工事等を進めるには地方公共団体の財政やマンパワーに限界があることが判明 ↓ ↓ ↓ ↓ 立法措置により、財政的な支援や技術的な援助を実施し、計画的・効率的に防災工事等を進めることが必要
法律の対象 私人が所有する農業用ため池	国、地方公共団体および私人が所有する防災重点農業用ため池
法律の期限 失効予定のない「恒久法」	一定の期間で失効する「時限立法」 (10年間)

## ため池の築造年代

江戸時代以前及び不明	69%
明治・大正時代	20%
昭和以降	11%

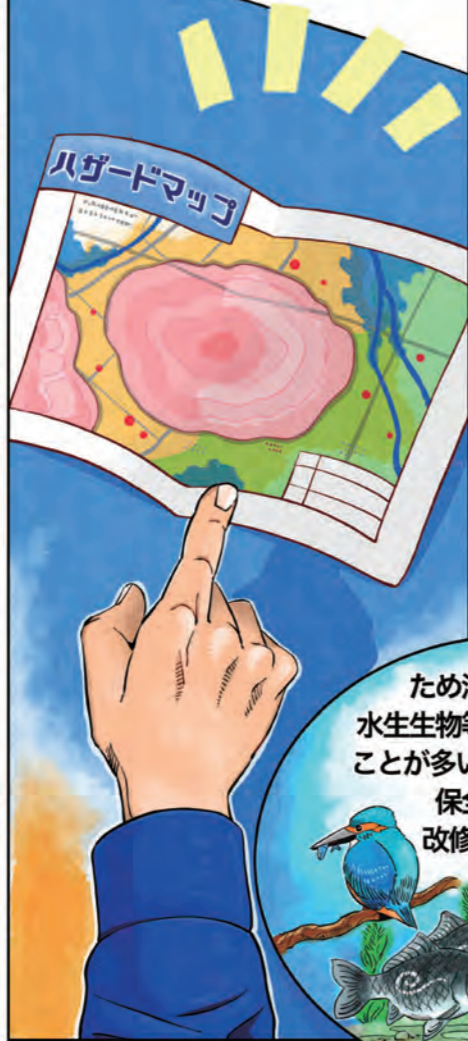
(農林水産省)



老朽化で水が漏れ  
営農に必要な水量が  
確保できない。  
下流域の安全・安心を  
図り、農業用水の  
安定確保のため、  
ため池を改修する！

ハザードマップを  
作成周知し、もしも  
ため池が決壊した  
ときの安全確保の  
徹底も大切！

使わなくなった  
ため池は安全確保の  
ため、堤防を切開して  
危険性を取り除くのも  
1つの対策！



山口県のため池数は  
約9000箇所、全国で  
5番目です。  
農業者の減少が  
進む中、国が進めている  
3カ年の緊急防災対策は  
きわめて効果的！  
対策延長を強く望む！



制作・作画 漫画工房 樹本村塾



【まんがで紹介する土地改良のお仕事④ ため池の改修について】  
古くなったため池の改修について、まんがで簡単に紹介します。



# のんた Photo Column



防府総合用水円筒分水工

## ぶんすいこう 【分水工】

「分水工」は、幹線水路を流れる農業用水を複数の支線水路に分配するための施設です。

農業には水が必要不可欠です。そのため、昔から水を巡る紛争は各地でおこっていました。貴重な水を平等に分配する役割を担ったのが分水工です。

分水工には、幹線水路の水を決められた比率で複数の支線水路に分配する「せわりぶんすいこう 背割分水工」や「えんどうぶんすいこう 円筒分水工」、所定の流量を分配する「ゲート分水工」などさまざまな種類があり、それぞれにメリットがあります。

写真の防府総合用水円筒分水工の直径は、現存する中では日本最大級の規模を誇ります。円筒の中心から水を吹き出させ、円筒の周囲に設けた仕切りの間隔（各地域の耕作面積比率に基づく）によって公平に水を供給する仕組みとなっています。流量の調節は簡単に行えない一方で、分水量の比率を誰でも視認できることから、合意形成上メリットがあるといえます。

発行

食料・環境・ふるさとを考える

山口県地球人会議 事務局

〒753-0079 山口県山口市糸米2丁目13番35号 水土里ネット山口 山口県土地改良事業団体連合会内  
TEL:083-933-0033 FAX:083-933-0048 URL:<http://www.yamadoren.or.jp/>